令和３年度　生活科　授業改善推進プラン

大田区立入新井第四小学校

１　昨年度の授業改善推進プランの検証

（１）　成果

・他学年との交流を通して、助け合ったり、協力したりするよさに気付くことができた。
・花や野菜を育てる活動を通して、成長の様子や変化に気付き、成長の喜びを味わい、大切に育てることができた。

（２）　課題

・体験的な活動をした際にそれぞれの気付きを深めたり、表現したりすることに課題がある。
・活動の際、自分が楽しむことが中心となってしまう児童が見られる。
・話し方や、言葉遣いなど、マナーを身に付けさせる必要がある。

２　授業改善のポイント（観点別）

低学年

思考・判断・表現	知識・技能	態度
見る、触る、嗅ぐなどの具体的な活動を通して観察し、表現する力を身に付けさせる。また、言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法によって他者と伝え合ったり振り返ったりさせる。	各活動を通して、個々の気付きを見取るため、カードの工夫を行う。他の児童と気付きの交流ができる活動場面を設定していく。１年「げんきにそだて　わたしのはな」や２年「大きくそだて　わたしの野さい」の活動の中で、動植物の世話を繰り返し行うことで、技能を身に付けさせる。	科学的な見方・考え方につながる内容では、身近にある物から発想した作品に興味関心をもたせ、より良くするために気付きを深めさせる。